



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ファンケル
コード番号 4921 URL <http://www.fancl.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)宮島 和美
問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員 (氏名)島田 和幸
グループサポートセンター長 TEL 045-226-1200
四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日
配当支払開始予定日 平成25年12月 5日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	38,752	△4.6	710	△15.6	937	△14.5	△537	—
25年3月期第2四半期	40,610	△7.5	841	△44.7	1,097	△25.4	648	△19.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △537百万円(—%) 25年3月期第2四半期 657百万円(△17.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△8.37	—
25年3月期第2四半期	10.00	9.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	81,488	71,210	86.9
25年3月期	86,849	74,542	85.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 70,822百万円 25年3月期 74,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
26年3月期	—	17.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,500	△5.2	1,100	△71.5	1,300	△70.6	△300	—	△4.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	65,176,600株	25年3月期	65,176,600株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,630,341株	25年3月期	269,757株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	64,228,276株	25年3月期2Q	64,885,243株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末以降の株高を背景とした消費者マインドの好転により個人消費が堅調に推移しており、設備投資も企業業績が改善するに伴い徐々に持ち直すなど、緩やかに回復しております。海外経済の下振れが先行き懸念されますが、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加傾向が続き、回復基調を強めていくと期待されます。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、リブランディングに伴う大規模なプロモーションを展開していた前年同期の反動や、エステ事業を営む連結子会社の株式会社ノイエスの株式を当第1四半期連結累計期間に当企業集団外へ譲渡したことなどにより減収となり、全体では38,752百万円(前年同期比4.6%減)となりました。営業利益は、マーケティング費用が前年同期に比べて減少したものの、売上高の減少により710百万円(前年同期比15.6%減)となりました。経常利益は、前年同期に子会社の再編に伴う受取配当金の計上があったことなどにより937百万円(前年同期比14.5%減)となりました。特別損失に台湾およびシンガポールの小売事業からの撤退ならびに台湾現地法人の解散を決定したことに伴う事業撤退損891百万円を計上したことなどにより四半期純損失は、537百万円(前年同期は648百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は21,741百万円(前年同期比4.0%減)となりました。

	平成25年3月期 前第2四半期連結累計期間		平成26年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	18,162	80.2	17,454	80.3	△3.9
アテニア化粧品	3,720	16.4	3,718	17.1	△0.1
その他	766	3.4	568	2.6	△25.8
合計	22,649	100.0	21,741	100.0	△4.0

	平成25年3月期 前第2四半期連結累計期間		平成26年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	11,126	49.1	10,827	49.8	△2.7
店舗販売	7,723	34.1	7,643	35.1	△1.0
卸販売他	1,148	5.1	841	3.9	△26.8
海外	2,651	11.7	2,429	11.2	△8.4
合計	22,649	100.0	21,741	100.0	△4.0

ファンケル化粧品は、平成25年6月20日にリニューアル新発売した洗顔パウダーが好調に推移したほか、限定製品の発売により売上の下支えを図りましたが、前年のリブランディングに伴う大規模なプロモーションを展開していた反動により、17,454百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

アテニア化粧品は、3,718百万円（前年同期比0.1%減）と前年並みとなりましたが、通信販売の新規のお客様数は前年同期比8.1%増と堅調に推移しております。

販売チャネル別では、通信販売は10,827百万円（前年同期比2.7%減）、店舗販売は7,643百万円（前年同期比1.0%減）、卸販売他は841百万円（前年同期比26.8%減）、海外は2,429百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

営業損益

損益面では、減収となったものの、マーケティング費用が減少したことなどにより、営業利益は1,631百万円（前年同期比58.4%増）となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は12,812百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

	平成25年3月期 前第2四半期連結累計期間		平成26年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	5,177	39.3	4,956	38.7	△4.3
店舗販売	3,018	22.9	3,083	24.1	2.1
卸販売他	3,586	27.2	3,451	26.9	△3.7
海外	1,403	10.6	1,320	10.3	△5.9
合計	13,185	100.0	12,812	100.0	△2.8

製品面では、ダイエットサプリメント「カロリミット」が好調なものの、その他の製品が振るわず減収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は4,956百万円（前年同期比4.3%減）、店舗販売は3,083百万円（前年同期比2.1%増）、卸販売他は3,451百万円（前年同期比3.7%減）、海外は1,320百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

営業損益

損益面では、減収となったほか、新規のお客様獲得のためにマーケティング費用を増加させた結果、営業利益は103百万円（前年同期比87.7%減）となりました。

③ その他

売上高

その他の売上高は4,197百万円(前年同期比12.1%減)となりました。

	平成25年3月期 前第2四半期連結累計期間	平成26年3月期 当第2四半期連結累計期間	伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米事業	1,412	1,359	△3.7
青汁事業	1,677	1,584	△5.6
その他の事業	1,685	1,253	△25.6
合計	4,775	4,197	△12.1

発芽米事業は、卸販売他は堅調だったものの、通信販売が振るわず、1,359百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

青汁事業は、「本搾り青汁大豆プラス」が堅調だったものの、その他の製品が振るわず、1,584百万円(前年同期比5.6%減)となりました。

その他の事業は、エステ事業を営む連結子会社の株式会社ノイエスの株式を当企業集団外へ譲渡したことなどにより、1,253百万円(前年同期比25.6%減)となりました。

営業損益

損益面では、減収となったものの、マーケティング費用の減少やエステ事業の売却に伴う収益性の改善により、前年同期に比べ117百万円改善し、27百万円の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて5,360百万円減少し、81,488百万円となりました。この要因は、流動資産の減少3,923百万円および固定資産の減少1,436百万円であります。流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金の減少964百万円、受取手形及び売掛金の減少1,892百万円およびたな卸資産の減少527百万円であります。固定資産の減少の主な要因は、減価償却の実施などによる有形固定資産の減少592百万円、無形固定資産の減少425百万円、投資有価証券の減少206百万円、保証金の減少による投資その他の資産の「その他」の減少212百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて2,028百万円減少し、10,277百万円となりました。この要因は、流動負債の減少2,003百万円および固定負債の減少25百万円であります。流動負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少693百万円、未払法人税等の減少765百万円および未払金等の減少による流動負債「その他」の減少768百万円であります。固定負債の減少の主な要因は、リース債務の減少などによる固定負債「その他」の減少32百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて3,331百万円減少し、71,210百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いなどによる利益剰余金の減少1,665百万円および自己株式の取得による減少1,593百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から1.6ポイント上昇し、86.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は27,265百万円となり、前連結会計年度末より962百万円減少いたしました。当第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,326百万円(前年同期は611百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは、売上債権の増減額1,811百万円、減価償却費1,491百万円およびたな卸資産の増減額500百万円などによる増加と、仕入債務の増減額669百万円および法人税等の支払額860百万円などによる減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は504百万円(前年同期は1,862百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出690百万円、無形固定資産の取得による支出253百万円および連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出108百万円などによる減少と、有価証券の売却及び償還による収入527百万円による増加であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2,851百万円(前年同期は1,123百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、自己株式の取得による支出1,719百万円および配当金の支払額1,102百万円などによる減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

合理的な業績予想ができないことから開示を見合わせておりましたが、中期戦略の確定により算定可能となったため、下記の通り業績予想を開示いたします。

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
前回発表予想	—	—	—	—	—	—	—	—	—
今回修正予想	78,500	△5.2	1,100	△71.5	1,300	△70.6	△300	—	△4.62

化粧品関連事業は、ファンケル化粧品は「洗顔パウダー」・「マイルドクレンジングオイル」のリニューアル新発売による伸長はあるものの、前年のリブランディングに伴う大規模プロモーションの反動により減収となる見込みです。アテニア化粧品は、新規のお客様の獲得が好調に推移し前年並みの売上高となる見込みです。

栄養補助食品関連事業は、ダイエットサプリメント「カロリーミット」が引き続き堅調に推移する見込みですが、その他の国内向け製品の不振が継続することと、海外向けサプリメントの輸出が伸び悩むことにより減収となる見込みです。

その他事業は、エステ事業を営む連結子会社の株式会社ノイエスを当第1四半期連結累計期間に当企業集団外へ譲渡したことなどにより減収となる見込みです。

以上により、平成26年3月期通期の売上高は78,500百万円(前期比5.2%減)となる見込みです。

損益面では、減収となることおよび中高年向けの戦略製品「発芽米パワーPSG」への先行的なマーケティング投資など、再成長に向けた投資を積極的に行うことにより、営業利益は1,100百万円(前期比71.5%減)、経常利益は1,300百万円(前期比70.6%減)、当第2四半期連結累計期間に台湾およびシンガポールの小売事業からの撤退ならびに台湾現地法人の解散を決定したことに伴う事業撤退損を計上したことなどにより300百万円の当期純損失(前連結会計年度は2,193百万円の当期純損失)となる見込みです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,720	17,756
受取手形及び売掛金	10,071	8,179
有価証券	13,359	12,836
商品及び製品	2,834	2,359
仕掛品	43	49
原材料及び貯蔵品	3,176	3,118
その他	1,995	2,283
貸倒引当金	△70	△374
流動資産合計	50,131	46,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,673	22,002
減価償却累計額及び減損損失累計額	△13,729	△13,520
建物及び構築物 (純額)	8,944	8,481
機械装置及び運搬具	6,563	6,641
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,314	△5,484
機械装置及び運搬具 (純額)	1,249	1,156
工具、器具及び備品	7,332	7,228
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,233	△6,185
工具、器具及び備品 (純額)	1,098	1,042
土地	10,216	10,216
リース資産	326	264
減価償却累計額及び減損損失累計額	△213	△158
リース資産 (純額)	112	106
その他	32	58
有形固定資産合計	21,655	21,062
無形固定資産		
その他	3,796	3,371
無形固定資産合計	3,796	3,371
投資その他の資産		
投資有価証券	7,327	7,121
その他	3,937	3,725
投資その他の資産合計	11,265	10,846
固定資産合計	36,717	35,280
資産合計	86,849	81,488

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,383	1,689
未払法人税等	932	166
賞与引当金	933	923
ポイント引当金	1,434	1,394
事業撤退損失引当金	—	277
資産除去債務	2	—
その他	4,236	3,468
流動負債合計	9,922	7,919
固定負債		
退職給付引当金	1,593	1,608
役員退職慰労引当金	54	65
資産除去債務	498	480
その他	236	204
固定負債合計	2,383	2,358
負債合計	12,306	10,277
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	51,906	50,241
自己株式	△333	△1,926
株主資本合計	74,074	70,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	7
その他の包括利益累計額合計	6	7
新株予約権	461	387
純資産合計	74,542	71,210
負債純資産合計	86,849	81,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	40,610	38,752
売上原価	13,213	12,493
売上総利益	27,397	26,259
販売費及び一般管理費	26,556	25,548
営業利益	841	710
営業外収益		
受取利息	52	39
受取配当金	150	10
為替差益	8	97
雑収入	115	109
営業外収益合計	327	256
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	52	3
雑損失	19	26
営業外費用合計	71	29
経常利益	1,097	937
特別利益		
固定資産売却益	—	0
新株予約権戻入益	—	0
現物配当に伴う交換利益	107	—
特別利益合計	107	0
特別損失		
固定資産売却損	—	14
固定資産除却損	6	135
減損損失	239	7
店舗閉鎖損失	45	84
訴訟関連損失	—	223
関係会社株式売却損	—	136
事業撤退損	—	891
その他	10	2
特別損失合計	301	1,495
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	902	△557
法人税、住民税及び事業税	157	157
法人税等調整額	96	△177
法人税等合計	254	△19
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	648	△537
四半期純利益又は四半期純損失(△)	648	△537

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	648	△537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	0
その他の包括利益合計	8	0
四半期包括利益	657	△537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	657	△537
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	902	△557
減価償却費	1,659	1,491
減損損失	239	7
株式報酬費用	30	24
のれん償却額	56	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	41	327
賞与引当金の増減額(△は減少)	37	△1
ポイント引当金の増減額(△は減少)	4	△39
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25	14
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10	10
事業撤退損失引当金の増減額(△は減少)	—	277
受取利息及び受取配当金	△202	△49
為替差損益(△は益)	△12	△78
関係会社株式売却損益(△は益)	—	136
固定資産売却損益(△は益)	—	13
固定資産除却損	6	135
店舗閉鎖損失	45	84
訴訟関連損失	—	223
事業撤退損	—	275
現物配当に伴う交換利益	△107	—
売上債権の増減額(△は増加)	△480	1,811
たな卸資産の増減額(△は増加)	154	500
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△174	△105
その他の固定資産の増減額(△は増加)	4	4
仕入債務の増減額(△は減少)	△14	△669
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,163	△434
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△18	△16
その他	△16	△28
小計	1,028	3,359
利息及び配当金の受取額	200	50
法人税等の支払額	△617	△860
訴訟関連損失の支払額	—	△223
営業活動によるキャッシュ・フロー	611	2,326

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	500	—
有価証券の売却及び償還による収入	3,000	527
有形固定資産の取得による支出	△951	△690
有形固定資産の売却による収入	—	2
無形固定資産の取得による支出	△1,180	△253
無形固定資産の売却による収入	—	2
投資有価証券の取得による支出	△3,000	—
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	0
関係会社出資金の払込による支出	—	△44
関係会社株式の取得による支出	△203	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△108
貸付けによる支出	△73	—
貸付金の回収による収入	42	19
その他の支出	△36	△28
その他の収入	41	67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,862	△504
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	—	4
自己株式の取得による支出	△0	△1,719
配当金の支払額	△1,099	△1,102
その他	△23	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,123	△2,851
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	66
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,365	△962
現金及び現金同等物の期首残高	25,056	28,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,690	27,265

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,649	13,185	35,835	4,775	40,610	—	40,610
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	22,649	13,185	35,835	4,775	40,610	—	40,610
セグメント利益又は損失(△)	1,030	842	1,873	△144	1,728	△886	841

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨・装身具類・肌着類の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△886百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,741	12,812	34,554	4,197	38,752	—	38,752
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	21,741	12,812	34,554	4,197	38,752	—	38,752
セグメント利益又は損失(△)	1,631	103	1,735	△27	1,707	△997	710

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、雑貨・装身具類・肌着類の通信販売、発芽米事業、青汁事業、エステ事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△997百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

平成25年11月14日開催の当社取締役会において、会社法第236条、第238条および第240条第1項の規定に基づき、当社の取締役および執行役員に対して、以下のとおり株式報酬型ストック・オプションを付与することを決定いたしました。

1. 付与対象者および人数

取締役：10名 執行役員：10名

2. 新株予約権を割り当てる日

平成25年12月2日

3. 新株予約権の数

未定

4. 新株予約権の目的である株式の種類

普通株式

5. 新株予約権の目的である株式の数

新株予約権1個当たりの目的となる株式の数は100株

6. 新株予約権の行使時の払込金額

1株当たり1円

7. 新株予約権の行使期間

平成25年12月3日から平成55年12月2日

8. 新株予約権の行使により株式を発行する場合の株式の発行価格及び資本組入額

未定